

教師論分科会は、27日午後1コマ・28日午前中1コマの合計2コマで行われました。参加者は、両日ともに20人弱です。発表された資料は19本。(資料は発表順)

〈資料発表順〉

7月27日(水)

1. 「〈不登校支援〉体当たり実践記」(千葉・堀江 晴美さん)
2. 「たのしさと学力と」(徳島・横井 秀郎さん)
3. 「元気くんとの一学期」(奈良・皿谷 美子さん)
4. 「いちねんせいと仮説実験授業」(愛知・伊藤 正道さん)
5. 「空気と水のことを『一生わすれません!』」(東京・高島 茂登子さん)
6. 「日常には、ステキなことがたくさん詰まっている」「ガリ本『マンガ de 資料』完成!!」(福岡・中村 文)
7. 「ぼくが大切にしたいもの」(愛知・岡田 恵一さん)

7月28日(木)

- 8~14 「だからなんやねん」「授業書をやり続けて」
「ダルマタ日を見に来続けて」「この一年は・・・」
「新年度が始まって」「長坂センセイがやってきた」
「僕と友君の1年半」(愛知・寺島 淳也さん)
15. 「楽しい免許更新講習」(富山・島 百合子さん)
- 16 「Smile」(愛知・井上 勝さん)
17. 「仮説実験授業のある教室」(高知・松木 文秀さん)

18. 「授業書と子ども達」(愛知・手嶋 唯人さん)

19. 「ぼくに求められているもの(愛知・林 泰樹さん)

＜分科会の様子＞

不登校対応の資料から始まり、仮説実験授業を通じてのクラスの様子や子ども達との関わりについてなど、様々な資料が発表された分科会でした。

その中で、「元気くんとの一学期」(皿山美子さん・奈良)の資料の中に出てきた、元気くんの様な子ども達との関わり方が話題となりました。

4月のクラス開きからなかなかこちらの指導が入らない元気君。しかし、徐々に元気君が一体何で困っているのか？を知ることができ、彼の実態がわかっていった事。また、元気くんは仮説がとても好きで、仮説の時間になると授業に参加するようになった事。これらを通じて皿山さんは、今年は「楽しいことにつながっていこう」と思い、楽しさを基準にした学級経営を元気君とともに作っているという資料内容でした。

その資料に書かれていない細かい部分(保護者の方との連絡をどのように行ったのか?)などの質問が参加者の中から出てきていました。

今回、教師論分科会をさせてもらいましたが、事前に資料がどのくらいあるのかは大体把握していたものの、時間配分で参加者の方々にご迷惑をかけてしまった様に思います。司会って難しいなぁ〜と思いつつも、いい経験をさせてもらったと思います。ありがとうございました！